



新富士ロータリークラブ会報

CREATE HOPE in the WORLD

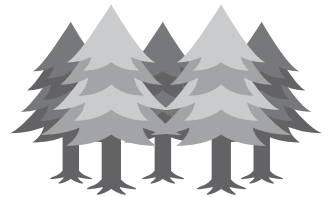
— 世界に希望を生み出そう —

R I 会長 ゴードン・マツナリ
第2620地区ガバナー 中村 皇 積
新富士 R. C. 会長 川村 武
幹事 本多 脩 身

事務所：富士市平垣本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎月第2・3・4火曜日
12:30～13:30



第1461回例会 (2023. 8. 8)



司 会 高橋 孝行会場監督

ソング 「奉仕の理想」

四つのテスト唱和・本年度新富士 R C テーマ唱和

R I テーマ唱和

会長挨拶

今日は“エリートツリー”についてお話します。“エリートツリー”という言葉を知っている方いますか？私は全く知りませんでした。

エリートツリーは、①成長が早い、②CO₂吸収力が高い、③花粉が少ない、と言った特徴を持つ木を品種改良して作られた“樹木のサラブレッド”のような存在です。

基準としては、

- ・成長スピードが約1.5倍
(その為、同じ時期のCO₂吸収量が1.5倍)
- ・花粉量が半分以下
- ・幹がまっすぐ

この条件を満たしたものが、農林水産大臣より指定されています。

今年5月に開かれた岸田総理大臣が進める花粉症対策の関係閣僚会議では、スギ人工林を20%程減少させるとともに、10年後にはエリートツリー等の花粉の少ないスギの苗木の生産割合を90%以上に引き上げることで、30年後に花粉の発生量半減を目指す新たな対策が打ち出されています。



日本国内にある2,500万haの森林(そのうち1,000万haは人工林)はCO₂の貴重な吸収源です。ただし、CO₂の吸収量

は樹齢20年を超えると次第に低下していく上、国内の人工林では樹齢50年を超える木が半数以上を占めています。

その為、高齢の木からエリートツリーへの植え替えは単位面積当たりの総吸収量が高める効果があり、カーボンニュートラル実現の早期化に結びつきます。

このように花粉量が少なく成長の早いエリートツリーはこれらの社会課題を解決する救世主として今、大きな期待を寄せられています。

出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1461回	16	11	5		暫定68.75%

《本日の欠席者》

林 和子君	堀井 健治君	稲葉 邦文君
久保田元久君	鈴木 清久君	渡邊 哲男君



育藤前幹事へ感謝状

プログラム予定

8月29日(火) クラブ協議会

私のスマイル

川村 武君 小山さん、本日は会員増強セミナー報告よろしくお願ひいたします。

本多 脩身君 毎日、暑いですが。でも台風で飛ばされるよりも良いかな。

和田 三郎君 おきがる無料相談所のチラシができました。ご協力よろしくお願ひします。

潮来 克士君 暑い日が続きます。コロナも増えているようです。体調管理していきましょう。

小山 哲君 今月は「会員増強維持月間」です。お知り合いに是非お声かけを。

高橋 孝行君 毎日あついですネ！台風7号が心配です。

長原 良成君 甥っ子が名古屋より1人で遊びに来て、一緒に農作業をしました。



幹事報告
本多 脩身 幹事



出席委員会報告
森 美城 出席委員



スマイル報告
長原 良成 親睦委員

国際RC第262地区 会員増強セミナー報告



会員増強維持委員長
小山 哲 様



日時：2023年7月29日(土) 13:00～16:40

場所：静岡市グランシップ

《内容》

- ・中村ガバナー挨拶：クラブへの参加と体験が大切
- ・小林アドバイザー挨拶：新会員の活動できる場を作り育成する
- ・石井会員増強委員長挨拶：退会防止のため、入会3年未満の会員対象にセミナーを計画
- ・安間パストガバナー講演：「世界に希望を生み出そう」の意味
D E I (Diversity Equity Inclusion) …多様性、公平さ、インクルージョンの実践
- ・ガバナー、講師による対談：クラブ訪問経験からの事例紹介
- ・各グループにおける課題や問題点についての発表

《感想》

262地区の各クラブは例会の運営、その規模、地区の特色、活動内容等々それぞれ違う印象を持ちました。会員数の減少に悩むクラブは大変多く、高齢化対策の問題を抱えるクラブも多いようでした。会員の平均年齢が当クラブより高いクラブが複数あることも分かりました。入会3年以内の退会や女性会員の退会が多い傾向があるように感じました。

会員増強や退会予防などの事例紹介がありましたが、新富士RCは同様の行動は実行してきたと思います。増強についてはJCなどへの働きかけ、クラブ事業を通じての勧誘、例会への招待、外部卓話者へのアプローチ、入会金の減免、親睦行事への招待、など。退会防止には新会員を孤立させないよう声かけ、紹介者と隣席、自分紹介の卓話の機会、親睦活動への参加の勧め、例会数減少、など行ってきました。会員数の増加という結果を出すためには、ある意味の強引さが必要なのか分かりませんが、地域に1クラブのところと同地域に複数のクラブがあるところでは事情が異なるかと感じました。また短期間に多数新入会しても多数退会してしまうクラブもあるとの事でした。

外から見ても魅力的なクラブになるためには、その地域社会のニーズをとらえる事が大切だと話がありましたが、新富士RCの活動は誇れるものだと再認識しました。

またSNSやフェイスブック活用については成功例と失敗例と是非がありそうでした。会員数の多さ＝クラブの価値ではないと思いつつ、会員増に真剣に取り組む必要があります。